



A I を用いた自動養蚕の取り組み実践について

県立鶴岡工業高等学校（齋藤秀志校長、生徒数 456 名）では、地域の伝統産業であるシルクや養蚕について、継続的な学習に取り組んでいます。昨年度は、蚕の頭数を数えるオリジナル装置「SkyVision」を開発しました。今年度はこの SkyVision を活用し、鶴岡市が配布している飼育キットの蚕の頭数が、手作業による仕分けで正確かどうかの検証を行います。また、SkyVision のさらなる自動化・省力化への貢献を目指し、養蚕現場でのヒアリングも実施する予定です。本校でも今年度、蚕の飼育を計画しており、養蚕を通して地域の産業と歴史を深く理解し、将来的に担い手を必要とするこの産業へどのように貢献できるかを、3 年生の授業「課題研究」を通じて学習していきます。

つきましては、本校の特色ある学びを、広く県民の皆様にお知らせする絶好の機会ですので、是非取材くださるようお願い申し上げます。

記

- | | | |
|---------|--|-------------|
| 1 日 時 | 令和 7 年 6 月 5 日（木） | 10：30～11：30 |
| 2 場 所 | 松ヶ岡開墾場 | 3 番蚕室 |
| 3 参 加 者 | 生徒・教職員、蚕飼育キット受領者 | 5 名程度 |
| 4 テ ー マ | 「課題研究における A I を用いた自動養蚕の取り組み実践」 | |
| 5 技術指導 | 清野 忠 氏 | |
| 6 備 考 | ① 当日は鶴岡市で行われる蚕飼育キットの配布も行われ、配布に合わせて検証を行います。
② ご不明な点、取材の際は事前に、下記担当までお問い合わせください。 | |